

R4 森林環境譲与税に関する決算状況一覧（譲与税額 39,092千円）

事業名	事業総額（千円）		事業内容	実績	効果（総括）
	うち森林環境譲与税（千円）	うち他の財源（千円）			
森林経営管理制度推進事業	9,000	9,000	-	<ul style="list-style-type: none"> 航空画像の森林資源量解析 3次元データ作成 3次元ビューア作成 意向調査の実施：104件 意向調査コールセンター設置 森林整備方針の検討等 総延長70,400km	【ワンフレーズ】 <ul style="list-style-type: none"> 林道沿いの全周囲画像を取得したこと で、執務室から林道周辺の危険木その他危険個所のアタリをつけることが可能となり、現場確認が必要な箇所の優先順位をつけることが容易になった。 意向調査によって、これまで把握ができなかった森林所有者の森林整備の意向を知ることができた。
森林経営管理制度推進事業	6,983	6,983	-	森林所有者へ郵送による意向調査及び督促状の発送、意向調査結果の集計分析、不明所有者の調査、コールセンターの設置、既存事業での森林整備の同意等を森林組合に委託。	意向調査対象森林面積47.02ha
久留米ふれあい農業公園木橋改修業務	10,516	10,516	-	久留米ふれあい農業公園の木橋が腐朽しているため、これを改修する業務委託。	木材使用料3,8754㎡
市有林管理等業務	8,698	8,698	-	森林施業に必要な林道を適切に維持管理するための委託業務。	総延長42,050m
林道整備事業	3,895	3,895	-	林道施設の安全性・健全性を確保し、適切な森林管理と災害の未然防止のため修繕等を実施。	総延長43,233m

【詳細】

- 林道周辺の全周囲画像で優先的に現場を確認すべきところを判定したことで、翌年度の森林防災事業の予算編成を適正に行うことができた。また、災害で倒木や法面崩壊が生じた際に、災害前の画像データがあることで被害の程度を測る指標になった。
- 公共事業で木材の積極的使用を推進したことで、今後も木材を活用していく方針の土台となった。
- 山林の基幹となる林道を修繕整備したことで、森林整備を推進したのみならず、新たな災害被害を抑制することができた。